

# 第6次総合計画策定の取り組みは



月田 均



町長

## 2021年1月完成で進める

**質問** 平成31年度施政方針の中に第6次総合計画を策定するとあるが、どのように取り組もうとしているのか。

**答弁** 町長 第5次総合計画の検証を行い、現場を知る職員を考えを聞き取りとともに、住民座談会などで多くの住民の意見を取り入れていきたい。そして2021年1月完成を目指し、2年をかけて策定する。

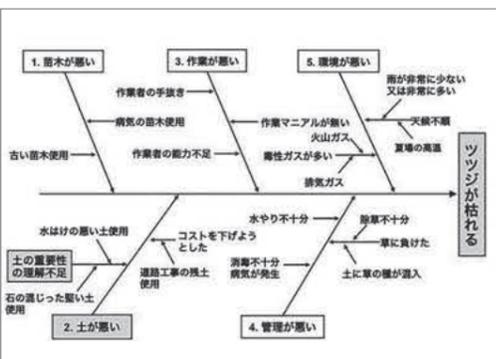
### 町道の植え込みの管理は十分か

**質問** 国道354号横の植え込みのツツジは枯れているものが見られるが、町道の植え込みの管理はどのように行っているか。

**答弁** 町長 植え込み土には道路建設時に発生する土を使用しており、水やりはしていないが、人力及び薬剤除草と消毒は適時行っている。

**質問** 町道のツツジの生育もあまり芳しくない。よい植

え込みをつくるには植栽に向いた土を選ぶ必要がある。今後の町の対応は。



ツツジが枯れる要因は？

### どんど焼きを無形民俗文化財に指定できないか

**質問** どんど焼きが復活し、大勢の人が集まり、にぎやかに行われている。まちづくりにも役立つと思うが、文化財に

指定できないか。

**答弁** 教育長 文化財に指定するには、継続していることや記録が残っていて文化財的な価値付けが求められることから、指定は考えていない。

**質問** 我々の年代はどんど焼きに強い思い入れがある。各地のどんど焼きが、どこでどのように行われていたかをまとめ、企画展等を実施したらどうか。

**答弁** 教育長 町のことを改めて知ることは非常に大事ななことと思っている。また、これから町で育っていく子供たちが、町のことをよく知る意味でも、昔からあるどんど焼き等の企画展等を開くことは、非常に大事なことを考えている。

### こんな質問もしています

・文化財の表示は適切にされているか  
・水防センター内の災害の資料の展示はどのようになるか

# 町長3年間の取り組みと評価は



備前島久仁子



町長

## おおむね7割の施策を達成できた

**質問** 町長は、財政の健全化と人口減少対策を柱に公約に取り組んできたが、その評価は。

**答弁** 町長 定住促進事業や東部工業団地での企業誘致など、誠心誠意取り組んできた。若い世代には、保育所や放課後児童クラブの待機児童解消対策など、子育てと仕事が両立できる環境づくりを推進してきた。4月からはいよいよ3学期制がスタートする。しかし、まだまだ道半ばであり、達成度はおおむね7割程度と考えている。

### 財政の厳しい状態が続いているがどうか

**質問** 日本の人口減少がとまらない。この10年間ににおける町の人口、財政調整基金高の推移は。

**答弁** 町長 人口は、平成17年のピーク時から比べると2226人減っている。財政調整基金は、ピーク時には31億円

あったが、道の駅や第4保育所の建設などの大型事業が続き12億円まで落ち込む見込みである。

平成31年度予算では、文化センター周辺事業の換地及び保留地売却収入を見込んだが、実質的には7億円の財源が不足しており、あと2年で収支の均衡を保つことが難しくなる。これが現実であるので、引き続き未来への投資と歳出改革を進めたい。

### 文化センター周辺事業の総事業費は。

**答弁** 町長 総工事費は14億円と見込んでいる。全て完売した場合に、定住者の町民税と固定資産税の収入として年間約8000万円の税収を見込んでいる。

### 「子ども安全協力の家」の活用状況は

**質問** 子どもたちが一人で帰宅する姿を見かける。いざというときに助けを求められる「子ども安全協力の家」の活用状況は。

**答弁** 教育長 「子ども安全協力の家」のプレートを掲げご協力をいただいている住宅・企業・商店などは659件あり、うち公共施設が21件である。

また、先月締結した株式会社セブンイレブン・ジャパンとの包括連携協定には、子どもの防犯体制への協力が盛り込まれている。



このプレートが目印